



Embargo: 15/01/2008 at 1 PM GMT

## PRESS RELEASE

Paris, 15 January 2007

### **Manduro Top Horse in 2007 World Thoroughbred Racehorse Rankings**

マンデュロが 2004 年のワールド・サラブレッド・レースホース・ランキングの創設以来の最高値 131 ポンドの評価を得てトップとなった。ドイツ産でフランス調教馬である同馬は 1600m から 2400m まで全ての距離で無敗、完璧な一年だったと言える。2006 年は 120 ポンドであったが、それより 11 ポンドも高い評価を得たことになる。

ワールドランキングはワールドランキング統括委員会により編纂され、国際競馬統括機関連盟 (IFHA) により発表されている。

ワールドランキング統括委員会の共同議長ナイジェル・グレイ氏は「イスペイン賞とジャックルマロワ賞でのパフォーマンスは同馬を 2007 年のマイル部門のトップと呼ぶにふさわしいものであった。しかしながら、同馬のベストパフォーマンスはディラントーマスを破ったロイヤルアスコット開催のプリンスオブウェールズステークスであった。さらに 2400m のフォア賞で距離の融通性を発揮したものの、故障によりいかなる距離もこなせることをさらに証明できなかったことは残念であった」と述べた。

以下は 2007 年のワールドサラブレッドレースホースランキングのトップ 10 である。全馬の表については[www.IFHAonline.org](http://www.IFHAonline.org)を参照のこと。

#### **World Thoroughbred Racehorse Rankings Top 10 Horses of 2007**

Rank	Horse	Rating	Trained
1	<b>MANDURO</b> (GER)	131	FR
2	<b>AUTHORIZED</b> (IRE)	129	GB
2	<b>CURLIN</b> (USA)	129	USA
2	<b>DYLAN THOMAS</b> (IRE)	129	IRE
2	<b>INVASOR</b> (ARG)	129	USA
6	<b>STREET SENSE</b> (USA)	126	USA
7	<b>ADMIRE MOON</b> (JPN)	125	JPN
7	<b>ENGLISH CHANNEL</b> (USA)	125	USA
7	<b>SOLDIER OF FORTUNE</b> (IRE)	125	IRE
10	<b>ANY GIVEN SATURDAY</b> (USA)	124	USA
10	<b>LAWYER RON</b> (USA)	124	USA
10	<b>YOUNZAIN</b> (IRE)	124	GB



ワールドランキング統括委員会の共同議長ガリー・オゴーマンはディラントーマス (129) の功績を次のように讃えた。「キングジョージと凱旋門賞を同一年に制したのは1995年のラムタラ以来のことであり、また同馬の適距離よりも短い2000mの愛チャンピオンステークスも制した。」

ディラントーマスの129ポンドは同馬の2006年のベストを3ポンド上回り、これによりオーソライズド、カーリン、インヴァソールと並んでランキング2位タイとなった。オーソライズド (129) は英ダービーを快勝、その後も2000mのインターナショナルステークスではディラントーマスを破った。

北米レーティング委員会の議長、トム・ロビンスはダート部門トップの2頭について次のように述べている。「インヴァソール (129) は今年にドバイワールドカップを勝って2006年にブリーダーズカップクラシックを勝った時と同等の評価を得た。その後故障によりさらに数値を更新できなかったのは残念である。これに並んだのがカーリン (129) でブリークネスステークスを勝ち、ケンタッキーダービーでは3着とベルモントステークスでは2着、その後はブリーダーズカップクラシックを制した。この競走を3歳で制したのは2000年のティズナウ以来である。」

また同氏は次の点についても付け加えた。「ラグズトゥリッチズ (123) は102年ぶり、また過去3頭しかいない牝馬によるベルモントステークス優勝を達成した。同レースではカーリンを破っている。また、ケンタッキーオークスでのパフォーマンスも同様に圧倒的であった。この2つのパフォーマンスにより、芝・ダートを問わず牝馬のトップとなった。」

芝部門の牝馬トップはダルジナ (122) とピーピングフォーン (122) の2頭である。ダルジナはグループ1競走を3つ制したがその中でベストと呼ぶべきはラモンティ (123) を破ったムーランドロンシャン賞であろう。これは過去10年の牝馬マイル部門では同じフランス調教馬であったディヴァインプロポーションズと並ぶ快挙であった。

ピーピングフォーン (122) は牝馬のグループ1競走を4つ制しており、3歳牝馬で2000-2400mの距離でこれを超えたのは過去10年間では2000年のエジプトバンド (126) と2001年のバンクスヒル (123) の2頭だけである。以上の紹介した3頭の牝馬については2008年でのさらなる飛躍を期待したいところである。

\*\*\*

For further details on the World Rankings, please contact:

<p><b>Nigel Gray, co-chairman World Rankings Supervisory Committee</b> Head of Handicapping and Race Planning, Hong Kong Jockey Club Telephone +852 2966 8337 Email <a href="mailto:nigel.c.gray@hkjc.org.hk">nigel.c.gray@hkjc.org.hk</a></p>	<p><b>Garry O'Gorman, co- chairman World Rankings Supervisory Committee</b> Senior Flat Handicapper, Irish Turf Club Telephone +353 86 8564218 Email <a href="mailto:gaogorman@eircom.net">gaogorman@eircom.net</a></p>	<p><b>Tom Robbins, chairman North American Ratings Committee</b> Vice President (Racing), Del Mar Thoroughbred Club Telephone +1 858 792 4230 Email <a href="mailto:tomr@dmtc.com">tomr@dmtc.com</a></p>
--	---	--



Attachment

## TOP PERFORMERS BY CATEGORY

## SPRINTERS ( 'S' category ) :

南半球所属馬であるため、WTRR 2007 の対象とはならないが、香港スプリントを制したセイクリッドキングダム (123) が 2007 年のスプリント部門全体でトップのパフォーマンスを残したと認定され、香港の伝説的名馬サイレントウイトネス (2004・2005 年に 123 ポンド) と並びの 123 ポンドの評価を得た。

ミッドナイトルート (121) はブリーダーズカップスプリントを制し、ダート部門のトップとなった。

ミスアンドレッティ (120) はオーストラリアでは圧倒的な力を見せていたが、ロイヤルアスコット開催のキングススタンドステークスを制し、1993・1994 年のロッシュソング以来の評価を得て、牝馬のベストプリンターとしての地位を確固たるものとした。

## MILERS ( 'M' Category )

マンデュロ (126) はそのパフォーマンスによりチャンピオンマイラーとなったが、この他にもアドマイヤムーン (125) とラモンティ (123) についても言及する必要がある。

アドマイヤムーンは卓越したスピードを発揮し、ドバイデューティフリーを快勝した。この他にも距離延長にもかかわらず、'Long'カテゴリーの日本の代表的な G I 競走である宝塚記念とジャパンカップを制し格の違いを見せた。

ラモンティはヨーロッパマイルの主要グループ 1 競走を 3 つ制し、堅実さを示すとともに、シーズン終盤では香港カップを制し、距離の融通性を発揮した。

## INTERMEDIATE ( 'I' Category )

ここまで言及しなかった馬で特に言及すべき馬はストリートセンス (126) とエルセグンド(122)である。

ストリートセンスは史上初めてブリーダーズカップジュベナイルとケンタッキーダービーを制した。このレースではカーリンを打ち破ったが、プリークネスステークスでは同馬に僅差破れ雪辱を果たされた。

エルセグンドは今回のランキングの対象とはならないが、10 月のコックスプレートでのパフォーマンスが評価され、オーストラリアのトップとなった。

## LONG ( 'L' Category )

イングリッシュチャンネル (125) はブリーダーズカップターフを 7 馬身差で圧勝、古馬牡馬部門でディラントーマスに続き 2 位となった。これにより 2006 年の 121 を大きく更新することとなった。



ソルジャーオブフォーチュン(125)は愛ダービーを9馬身差で圧勝、3歳芝部門ではオーソライズドに続くパフォーマンスを見せた。

EXTENDED ( 'E' Category )
---------------------------

セプティマス (122) は3600mのドンカスターカップで強敵相手に5馬身差を付け圧勝、ベストパフォーマンスを残した。これにより同きゅう舎のイエーツ (121) を抜いてトップとなった。そのイエーツはアスコットゴールドカップと愛セントレジャーを制し2006年と同様の評価を得た。同馬は愛セントレジャーではスコープイオン (120) を破っている。

エフィシエント (120) は3200mのメルボルンカップを制し、スコープイオンと並んで3位タイとなっている。

\*\*\*